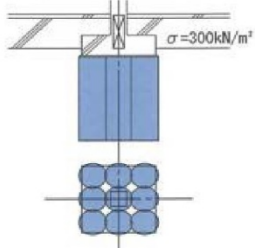
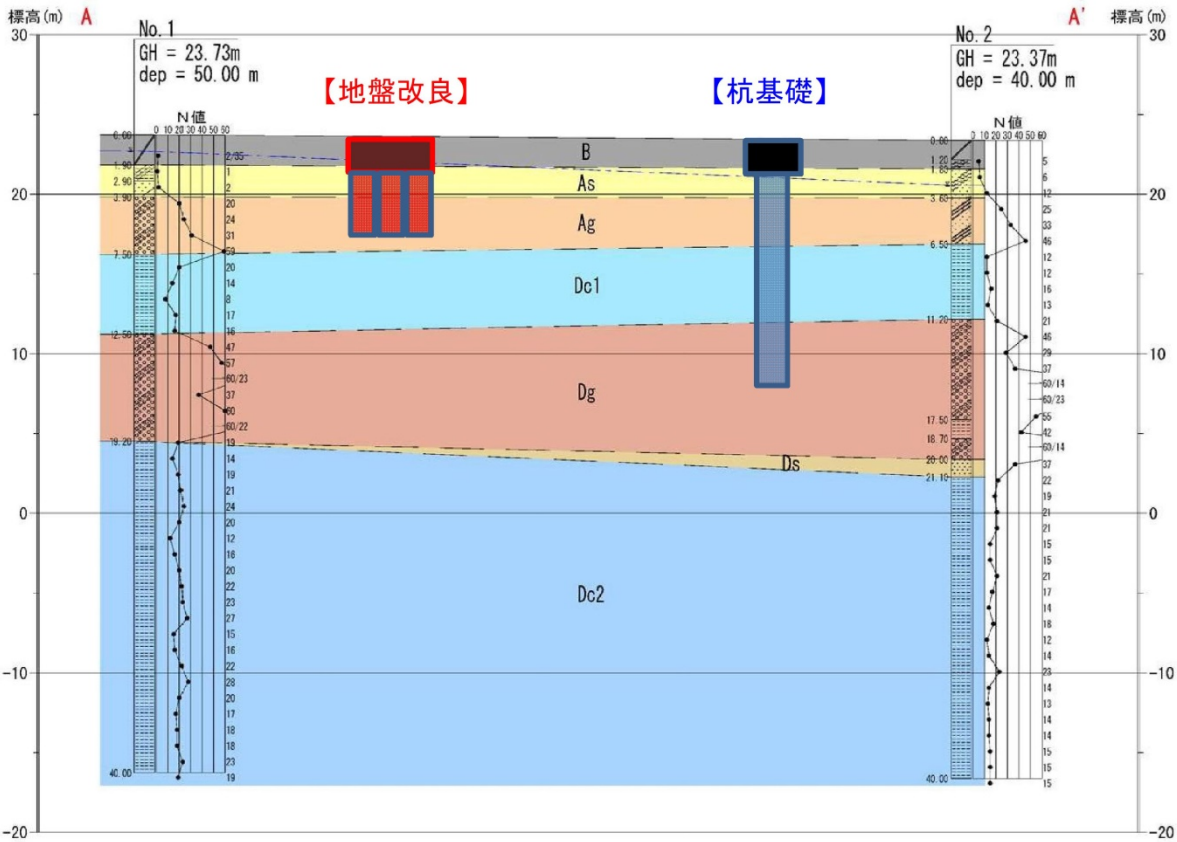


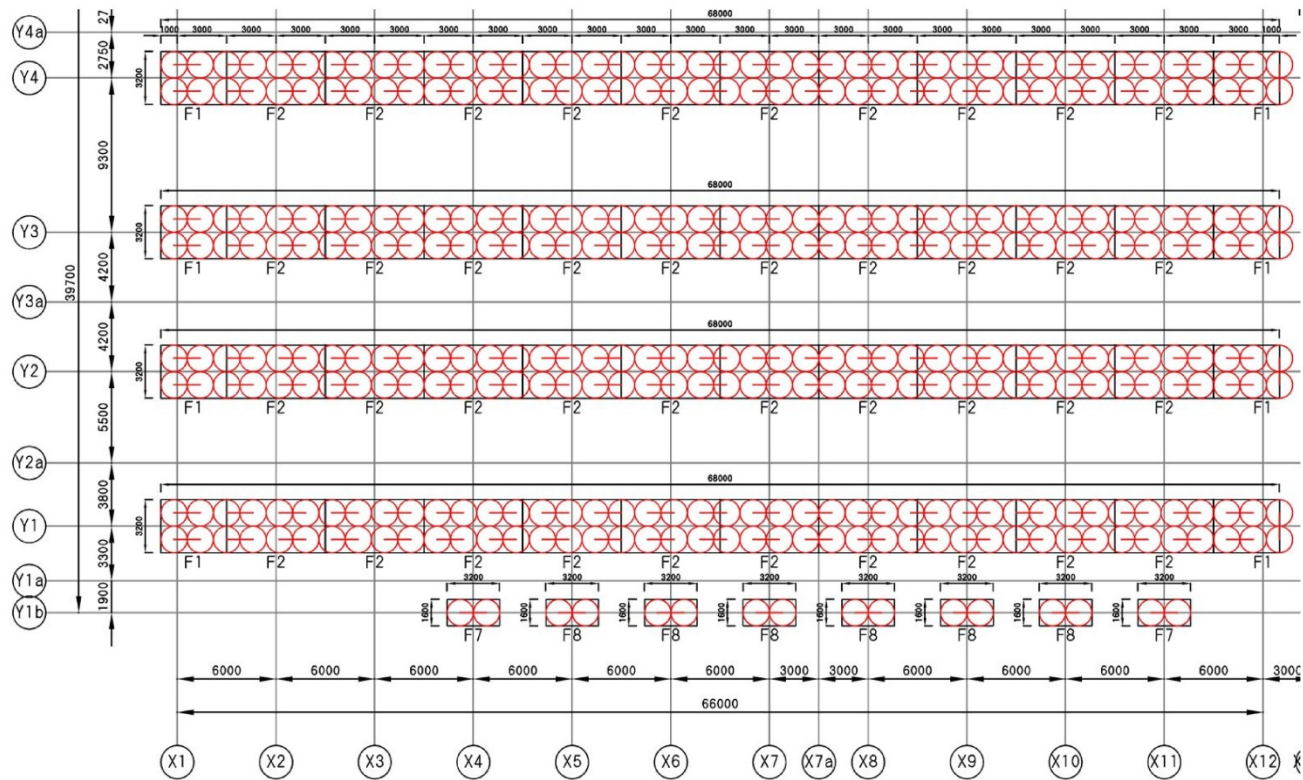
■基礎工法比較表

本計画における基礎工法は、地盤調査の結果から地盤改良工法または杭基礎工法が適していると考えられます。
建築物の規模として以下の工法により比較検討を行いました。
地盤改良：深層混合処理工法（柱状改良工法）
杭基礎：既製杭工法

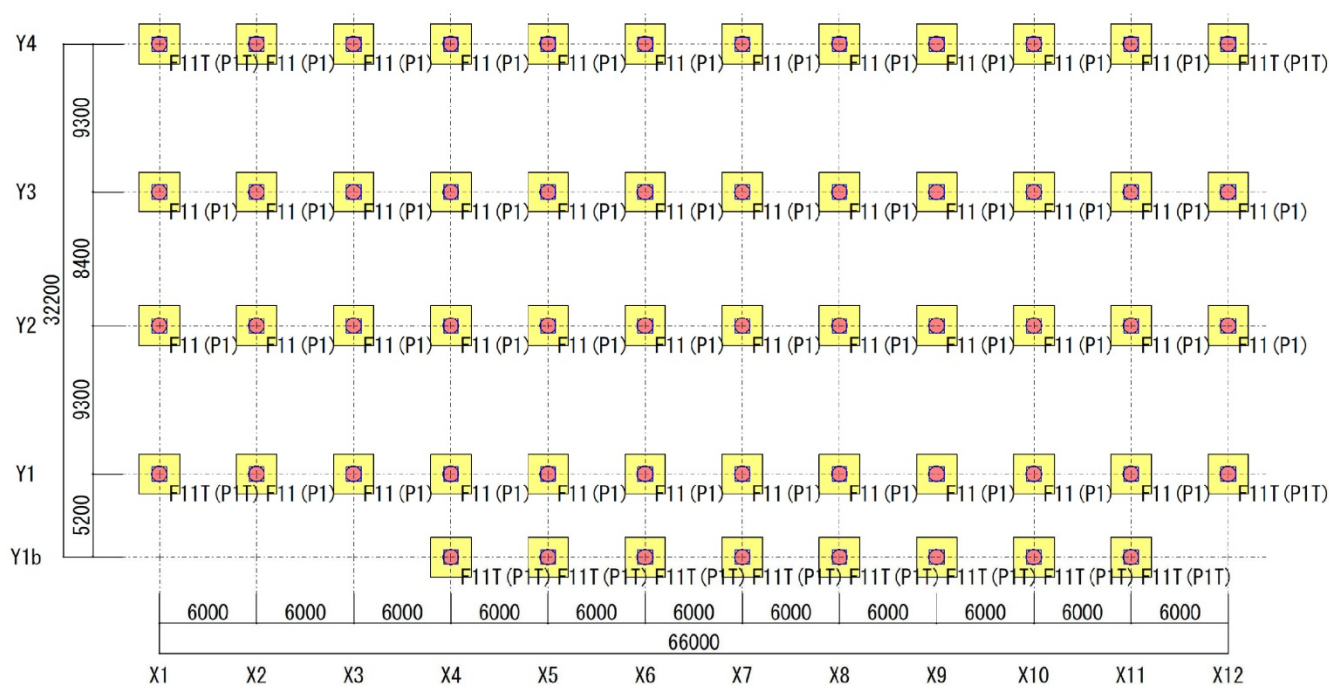
杭工法	地盤改良	杭基礎
概要	セメント系固化材（固化材液）を注入しながら原地盤と固化材液を攪拌混合することによって築造する深層混合処理工法 	掘削・泥土化した孔内の地盤に根固め液と杭周固定液を用いてソイルセメント状にした後、既成コンクリート杭を沈設する工法 
深さ	改良体長さ3.3m	杭長12.0m
コスト比	1.00	1.20
工期	1.1ヶ月	1.0ヶ月
評価	○	△



■地盤改良（柱状改良）配置



■既製杭配置



杭：φ1000 x 12.0m x 56本